

2019年4月号



一般社団法人
北海道歯科医師会

北海道歯科医師会HP <https://www.hokkaido-shikaishikai.com>

北見

KITAMI

平成31年保険講習会

日時：平成31年2月2日(土)

午後3時より

場所：北歯会会館

北海道保険医会 常任理事 田辺 隆 先生をお招きし、標記講習会が行われた。昨年の4月に行われた改定から約1年が過ぎ、いろいろ疑問に思っていることを

分かりやすく解説していただいた。

今まで自分の中で理解しているつもりだったが、勘違いしていることなどがあり、明日からの診療に役立てていきたい思う。(丸子修史 記)

北海道在宅歯科医療連携室推進事業

在宅療養支援サポート研修会

日時：平成31年2月2日(土)

午後5時30分より



場所：北歯会会館

標記講習会が医療法人社団 邦栄会 本間内科医院 理事長 本間栄志 先生をお招きし、「歯科医師にやって欲しいこと欲しくないこと」という演題で講演いただいた。今後、将来に向け高齢者が増加し訪問歯科診療の需要が増えていく。医師の立場から我々にして欲しいことは、歯科診療、口腔ケア、摂食嚥下の3点だそうだ。

また、やって欲しくないことは、ある程度治療が終わり、もう大丈夫ですと言ったにもかかわらず、その後も治療継続。歯を残すのが現在の主流と聞いているが、

拔牙し過ぎではないか？総入れ歯を作ったが、本人が使用しないなど家族や施設からの声があるそうだ。

今、我々歯科医師に求められているのは、個々の声に耳を傾け患者やその家族に寄り添った治療ではないだろうか。

(丸子修史 記)



札幌

SAPPORO

新年互礼会

— 会員相互の親睦のなか新春を祝う —

日時：平成31年1月5日(土)

午後4時より

場所：札幌パークホテル



恒例の新年互礼会が雪の降りしきる中、多数の来賓と会員が出席し開催された。尾崎副会長の開会の辞に続き、山田会長より年頭の挨拶があった。

次に、来賓の秋元克広 札幌市長、松家治道 札幌市医師会会長、柳瀬義博 札幌薬剤師会会長、藤田一雄 道歯会会長より挨拶をいただいた。

引き続き来賓紹介の後、平成30年度

終身会員(33名)の紹介があり、続いて平成30年新入会員(21名)が紹介された。当日列席された15名の新入会員の先生方が登壇し一人ひとりが自己紹介を行なった。

祝杯は加藤康夫 北海道保険医会会長のご発声とともに唱和され開宴となった。会場は例年同様の「着席ジュッフェスタイル」で、ご馳走に舌鼓を打ちながら、新年の挨拶を交わす和やかな談笑の輪が広がっていた。

宴もたけなわのころ、本会会員である、角谷隆司 道議会議員からご挨拶いただき、また本会監事である山本耕一 先生と本年度新入会員であり、出席者の中で最年少である雅也先生(ともに東支部)の親子での乾杯が拍手喝采のなか行われ、諸留副会長の閉会の辞でお開きとなった。

平成30年度第2回在宅医療を担う

歯科医師の人材育成に係る研修会

日時：平成31年1月30日(水)

午後7時より

場所：札幌会館 大講堂

標記研修会が開催された。講師として、在宅歯科診療を積極的に行われている本会会員白石支部のあさひ歯科クリニック 今川博之 先生をお招きし、在宅歯科診療を始めるにあたり必要な基礎知識につい

て講演いただいた。

また当日は、会場にはポータブルユニット



や往診用レントゲン装置などの歯科医療機器を展示し、各メーカー担当者に対応していただいた。(高橋一行 記)

高齢者の歯のコンクール表彰式

日時：平成31年2月2日(土)

午後2時より

場所：札幌会館 会長室



昨年度より高齢者の歯のコンクール全道大会の表彰式が開催されなくなったため、本会と北海道保健福祉部とで高齢者の歯のコンクール表彰式を開催した。

本会からの推薦者が優秀賞を受賞され、北海道保健福祉部 健康安全局 地域保健課の新里医療参事ならびに山田会長より、表彰状と道歯会からの副賞がご本人に手

渡された。

(高橋一行 記)

平成30年度税務講習会

日時：平成31年2月8日(金)

午後7時より

場所：札幌会館 会議室

札幌中税務署 記帳指導推進官の中村光伸 氏から「平成30年分所得税確定申告の留意点について」と題して、申告の留意点において平成30年度税制改正点を中心に、特別措置法の再確認から始まり、税務調査等で指摘の多い点、10月1日からの消費税軽減税率制度、青色申告特別控除額および基礎控除額の変更などの説明があった。

続いて、当会顧問税理士の西川英幸 先生より「確定申告“知っておきたいこと”」と題して、昨年度の復習に加え、平成30年北海道胆振東部地震に係る国税の申告・納付等の期限の延長法、償却資産税の特例処置などの5つの事項について説明があった。

約2時間、確定申告の留意点のみではなく、平成31年度からの税制改正にも触れていただき、これからの歯科医院経営に参考になる有意義な講習会になった。



室蘭

MURORAN

第1回 パラレルスキークラブ バスツアー

日時：平成31年1月27日(日)

場所：ルスツリゾート



室歯会スキー同好会であるパラレルスキークラブのバスツアーが開催された。参加人数は18名であった。

当日は、晴れ時々曇り、マイナス5度の微風、ゲレンデ状態は圧雪のパウダーで、日差しがあるときは暑さを感じるほどであった。

例年どおり、室蘭スキー連盟の大長一政 指導員、当クラブ会長の由川 一 先生、三國一郎 先生のご指導のもと、皆ゲレンデを滑走した。途中、1名が肉離れを起

こしリタイアしたが参加者は滑りを堪能した。帰りのバスでは、参加したクラブ員のご子息の上達ぶりを酒の肴に、大いに親交を深めた。

3月には、ニセコアンヌプリでの宿泊ツアーが予定されており、さらなる会員の参加を幹事が呼びかけていた。

(森 勝彦 記)

市民公開講座

日時：平成31年2月2日(土)

午後2時から午後4時

場所：室歯会館 斎藤記念講堂

道歯主催の市民公開講座が行われ、「人生100年時代！健康長寿に重要な歯周病と糖尿病の予防」と題して、講師に旭川医科大学 内科学講座 病態代謝内科学分野 講師 安孫子亜津子 先生と北海道医療大学歯学部 口腔機能修復・再建学系 歯周歯内治療学分野 教授 古市保志 先生をお招きし開催され、会員の先生をはじめ一般市民の方々、約40名が参加した。歯周病と糖尿病は深くかかわっており、内科学の立場からと歯周治療の立場からの講演は我々会員にとっても非常にためになった。また、一般市民の方々も興味深く話を聞いていた。(畠山雄一 記)

学術部講演会「臨床力UPセミナー」

日時：平成31年2月9日(土)

午後3時より

10日(日)午前9時より

場所：室歯会館 斎藤記念講堂

本セミナーは昨年11月に開催された「臨床力UPセミナー」の続きであり、講師には前回もお越しいただいた静岡県浜松市にて開業されている田代浩史 先生をお招きした。講演会は1日目に「コンポジットレジン修復の発転換」と題して講演が行われ、2日目には前回同様、室歯会のスタディグループである「クリスタル」が主催するハンズオンセミナーが行われた。

1日目の講演会には室歯会員はもちろん苦歯の先生方にも参加していただき、前回よりも多くの方が講演会に出席した。前回の講演会で接着の概念や正しい方法、材料の特性、CRの選択や充填方法など講演いただいたが、今回は主に田代先生の症例を交え解説いただき、より臨床的な内容であった。参加した先生方は前回の話を踏まえ、より一層CRに対しての理解を深め、自分の臨床に生かそうと真剣な面持ちで聴講していた。講演会後は懇親会が開かれ、お酒を交えながら田代先生に疑問や不明点などを聞きながら懇親を

深めていた。

2日目はクリスタル主催で前回実習に参加した方々が出席し、ハンズオンセミナーが行われた。今回は実習も見学可能としたため、見学の方も多く参加した。模型を使つての実習の続きを行ない、実習参加者は前回より難しい症例に田代先生の解説を聞きながら、苦勞しながら実習を行なっていた。

最後に前回、今回と講演会、ハンズオンセミナーを行なっていた田代先生に仲川会長より謝辞があった。出席者からは、またぜひ田代先生には来蘭いただきご指導していただきたいとの声が上がっていた。(畠山雄一 記)



千歳

CHITOSE

千歯会主催 学術講演会
日時：平成31年2月22日(金)
午後7時より
場所：エニケンビル 3階 会議室
当会主催の学術講演会を開催した。
講師には北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 口腔再生医学講座の教授 村田 勝 先生をお招きして、「実践可能な再

生医療ー 骨誘導外科とバイオマテリアルー」と題して講演いただいた。
講演では、歯槽骨の再生を目指す上での基礎知識としての骨肉芽組織の重要性や、抜歯窩内に形成される骨肉芽をインプラント周囲の骨再生などに



利用する術式が紹介された。
続いて、硬化骨を骨移植材として利用する場合の問題点として、血液や骨髓由来の細胞の供給不足、BMPの湧出の遅延などを挙げられた。これらの問題への対処法として、母床骨の皮質を穿孔した

上で、移植骨の脱灰、多孔化、超音波処理による表面性状の粗造化、Bone Ring techniqueについても紹介された。
さらに、脱灰象牙質が、骨誘導能のある骨移植材として有用であることが紹介された。これには、顆粒状の物の他、歯をそのまま脱灰して多孔化し、弾力のある筒状、板状の移植材としても利用できることであった。
本講演には、村田先生のオリジナルの物が多く、しかも開業医が日常臨床に応用できるもので、大変有意義なものとなった。(松本敦至 記)

日高

HIDAKA

歯科医療従事者認知症対応力向上セミナー
日時：平成31年1月26日(土)
午後2時から午後5時15分
場所：北海道歯科医師会館
講師：北海道医療大学 看護福祉学部 看護学科 教授 山田律子
東京都健康長寿医療センター 研究所 研究員 枝広あや子

北海道介護支援専門員協会 会長 村山文彦
講演Ⅰ：認知症の基本と食について
講演Ⅱ：歯科医師と歯科衛生士が知っておくべき認知症の基礎知識と歯科的対応の要点
講演Ⅲ：認知症の早期発見における福祉職との連携の意義とその実際
出席者：当会会員13名 (出席者総数：44名)
[講演Ⅰ]
1) 認知症の基本と整えることの重要性
2) 人間にとっての食べることの意味と食べる機能の加齢変化

3) 認知症高齢者の食べる喜びを支えるケア
[講演Ⅱ]
1) 早期診断・早期対応の重要性および、認知症の人と家族の生活を支える知識と方法を習得する
2) 認知症の人への対応の基本と歯科治療の継続のための方法を習得する
3) 認知症診療、ケア、連携に関する基本的な知識を得る
[講演Ⅲ]
1) 認知症は脳の疾患によって起こる
2) 早期発見・早期対応によって、可逆性の疾患の治療ができたり、またアル

ツハイマー型認知症等の治療が望めない疾患であっても、本人の症状(特に行動・心理症状：BPSD)を緩和し本人の苦痛や家族の介護負担を軽減することが期待できる
3) 認知症の人が住み慣れた地域で安心して暮らすためには、本人と介護者を地域全体で支えていく必要がある。
講演会の後、懇親会を行なった。(舟木理一郎 記)



苫小牧

TOMAKOMAI

平成31年新年交礼会
日時：平成31年1月19日(土)
午後6時より
場所：グランドホテルニュー王子 若草の間

昨年9月に発生した北海道胆振東部地震による自粛ムードもある中、被災した3町を応援しようという趣旨で、及川秀一郎 安平町長、渋谷昌彦 むかわ町副町長、近藤泰行 厚真町副町長をお迎えして標記交礼会が開催された。牛丸 苫歯会会長、



高橋 苫小牧保健所次長、岩倉 苫小牧市長の挨拶のあと、恒例の鏡開きが行われた。
会の中盤には今回の震災で被災した苫歯会員である中西先生、吉住先生、平沖先生から震災時の状況などの説明と苫歯会からの支援に対する感謝の挨拶があった。もちろん恒例のビンゴゲームも健在で、

締めくくりの万歳三唱も例年同様、大倉苫小牧薬剤師会会長によりご発声いただいた。

震災からの復興もこれからが本番となるが、新しい年の始まりとして楽しい宴を催すことができた。(関 俊也 記)
第2回学術講演会
日時：平成31年1月25日(金)
午後7時30分より

場所：苫小牧市医師会館 2階 研修室
北海道大学大学院歯学研究院 口腔診断内科 助教 浅香卓哉 先生をお招きし「歯科金属アレルギーと口腔および全身の疾患」という演題で講演いただいた。
日常臨床では欠かすことのできない金属は主に合金であり、さまざまな金属物質が含有されている。CAD/CAM冠や高強度硬質レジンプリッジも保険採用されているとはいえ、まだまだ金属の使用頻度は高い。
講演では歯科用金属に由来する皮膚症状や口腔粘膜病変、金属アレルギーの検査方法など、現在北大病院で行われている対応について紹介された。また、歯科



材料中にはセメント、ガッターパーチャなどにも金属元素が含有されており、金属だけではなく日常的に使用している歯科材料にも微量ながらアレルゲンが含有されていること、それによって知らず知らず感作している可能性についても紹介された。(関 俊也 記)

釧路

KUSHIRO

第27回釧歯会学術大会
日時：平成31年2月23日(土)
午後2時30分より
場所：釧歯会館 大講堂
標記学術大会が行われた。今年の講演者は10名。
1. 市立釧路総合病院 歯科・口腔外科 川口 泰 先生
『17歳男児の上顎エナメル上皮腫の1例』

2. 釧路デンタルスタディクラブ 上田耕平 先生
『口腔内スキャナーの有用性』
3. おかだ歯科 岡田実継 先生
『見逃さない！オーラルフレイル～皆さんの気づきが「口福」から「幸福」を呼ぶ～』
4. 独立行政法人 労働者健康安全機構釧路労災病院 歯科口腔外科 小川 仁 先生
『チオプロニン(チオラ錠®)で天疱瘡様の口腔粘膜炎を認めた中毒性表皮壊死(TEN)の1例』
5. 釧路赤十字病院 歯科口腔外科 千田健博 先生
『観血的処置を施行した習慣性顎関節脱臼の1例』
6. 一般社団法人北海道歯科衛生士会釧

路支部 内海知佳 氏
『今、歯科衛生士が頑張れること』
7. (株)モダンデンタルラボラトリー 為数昌宏 氏
『ダブルスキャンによる高透光性ジルコニアクラウンの製作手順とステイン法』
8. 阿寒湖畔歯科診療所 小島雅文 先生
『File. Reamer 破折問題について』
9. 臨床サロン 高岡慈郎 先生
『著しいプラキシズムの治療の難しさ』
10. かんざわ歯科クリニック 蒲澤文克 先生
『プラークコントロールを基盤とした歯科医療の有効性について』
総勢10名による熱い発表が行われた27



回目の学術大会、歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士の各々の立場からの発表によって、つながり・連携が今後さらに重要な時代へと移っていくことを再認識できる時間であった。(葛巻秀敏 記)

旭川

ASAHIKAWA

スキー・スノーボード講習会
日時：平成31年2月17日(日)
午前10時より
場所：ぴっぷスキー場
標記講習会が行われ、インフルエンザ



が流行っている中、当日は欠席者もなく総勢54名の参加となった。
江端副会長の挨拶の後、ぴっぷスキー



学校校長の木村先生より講師の紹介があり、当日は雪が降り積もる天候となったが26名が講習を受け、それぞれ技量に合

わせてスキー学校の講師9名から丁寧に指導していただいた。
2時間の講習の後にロッジにてみんなでオニギリと豚汁を食べ、お楽しみ抽選会で大いに盛り上がり、医院間の親睦を深めた。
最後にお手伝いいただいた先生方、インストラクターの方々のおかげをもちまして事故や怪我無く無事に終了できたことを御礼申し上げます。(高垣謙二 記)

空知

SORACHI

空知デンタルゴルフ同好会総会
日時：平成30年2月15日(金)
午後7時より
場所：居酒屋龍の台所
標記総会が開催された。
伊東先生の挨拶に始まり、報告事項、議決事項（デンタルハンデの決定）、協議



事項とスムーズに進みことなく総会は終了した。
懇親会に入り、昨年の成績のことや、今年は雪が少なく、雪解けは早くなる予

想で、いつからできるかな？などタラレバの話で楽しい時間を過ごし、今年のゴルフコンペの開幕に思いをはせた。
(伊藤公博 記)

野球部総会
日時：平成31年2月22日(金)
午後7時より
場所：やまどり
標記総会が開催された。
南 登志靖 部長の挨拶の後、前年度決算が承認され、野球大会に向け、練習日程が決まった。



今年は札幌開催のため、宿泊も前回の札幌大会と同じホテルを確保し、怪我のないように、野球そしてススキノをみんなであらゆるように、準備をしていきたいと思う。
(伊藤公博 記)

函館

HAKODATE

警察歯科協力医研修会
日時：平成31年2月23日(土)
午後3時より
場所：函館会館 2階 第一講堂
標記研修会が開催された。今回は講演1として、北海道警察函館方面本部 鑑識課 次席の園部正博 氏による「暴力団の対応要領」と題しての講演が行われた。暴力団（やくざ）の成り立ちからその時代の歴史背景、現代の構成組織割り等を学び、もし反社会的勢力に因縁をつけられた時は、絶対に一人では対応しないよう注意された。彼らの行動パターンとして①動きの速さ ②脅し文句 ③激高しやすいが冷静 ④あいまいな答え（沈黙も含む）は、イエスとみなす ⑤面子を重んじる ⑥複数人の役割分担がある ⑦自分の失敗は笑ってごまかすが、他人の失敗はしつこく追及する ⑧警察はやはり怖い等、その場で

サインするようなことは絶対に避けてくださいとのことだった。
講演2として、神奈川歯科大学 災害医療歯科学講座 法医学歯科学の山田良広 教授による「法医学、歯科医師に求めること一確実な身元特定一」と題しての講演が行われた。身元確認作業や犯罪捜査においての異状死体の身元特定においては、指紋、歯の所見、DNAが大きな役割を果たしている。特に歯の所見の重要性は災害時の身元特定で多く知られている。年齢推定では下顎前歯切端部の象牙質の露出の程度で行い、歯科レントゲンが重要な資料となる。歯槽骨の吸収程度や歯髓腔の大きなから推定し、23歳くらいまでは歯根の完成度でかなり正確な年齢推定が可能である。また近年、被虐待児に咬んだ痕（咬傷）が認められる場合が増加しており、口腔内の状態から被疑者を特定できる可能性も増えてきたという。
2 題の講演の後、生前カルテからのデンタルチャート作成と死後記録からの身元確認照合実習を行なった。
口腔内写真（5 枚）を元に2 人1 組で

交互に所見を取る。（ダブルチェックが基本）
次に、生前のデンタルチャートを作成する。捜査員が収集した歯科医院保管の歯科診療緑とX線フィルムなどを参考に治療の進行を確認しながら治療終了時の状態を記載する。
そして最後に、生前死後のデンタルチャートの比較をする。1 歯ずつ対照して「一致」「不一致」を判定する。仮に不一致があっても直ちに否定せずに、矛盾の有無を検討する。
函館会には歯牙鑑定に卓越しているDr がいるため私は生前カルテ担当で、なるべくなら現場でのデンタルチャート作成には関わりたくないと恥ずかしながら思っていた。この研修会の2 日後…函館市内

で火災死亡事故があり、函館中央警察署から歯牙鑑定の依頼の電話がきた。8 年前に当院で右下智歯の抜歯と数本の充填処置を行なった患者だった。早速、カルテから生前デンタルチャートの作成を行なった。そして、胸が詰まりそうになりながら死後デンタルチャートを作成し、比較判定を行なった。一生に一度経験できるかどうかのこの経験。「先生！ちゃんと勉強しろよ！」とご本人に言われているような複雑な思いの中、全身全霊で鑑定書にサインをした。
(向山英明 記)



十勝

TOKACHI

デンタル・タウンミーティング in 十勝
日時：平成31年1月19日(土)
午後5時30分より
場所：十歯会館 2F 講堂



例年より積雪は少ないながらも寒さが厳しい中、道歯連盟主催のデンタル・タウンミーティングが十勝にて開催された。道歯連盟からは藤田一雄 会長、大西良近 副会長、高橋雅一 理事長が来帯され、開会のご挨拶をいただいた後に、今後の北海道歯科医師会における当面の課題など資料に基づいた各事項の報告があった。
続いてオーラルフレイルに関して症状・予防のポイントなどを地域住民への理解を深めていただくための説明があり、質疑応答で終了となった。
最後に「医療は政治なり」という連盟活動の意義についての説明があり、自分自身・歯科界・社会のために組織の力が大切ということを再認識した有意義なミー

ティングであった。
(南館直人 記)
平成30年度市町村歯科医会連絡協議会
日時：平成31年1月26日(土)
午後4時より
場所：十歯会館 2F 講堂
標記協議会が開催され、執行部8 名、各地区代表幹事8 名の計16 名参加のもと活発な意見交換が行われた。
大滝会長より開会挨拶後、今年度の十歯会の事業活動報告が行われた。その後、各地区代表幹事からの今年度活動報告、次年度活動予定、そして執行部への要望が出された。
協議事項では、1）各市町村の高齢者歯科ドックの実施状況並びに行なっていない地区への実施要請、健診内容の確認が行われた。さらに、2）災害時連絡網の活用方法について検討を行なった。充実した意見交換のもと栗原副会長の閉会の挨拶で終了となった。
(松澤直昭 記)
平成30年度臨時総会
日時：平成31年2月2日(土)
午後4時より
場所：十歯会館 2F 講堂
開会に先立ち新入会員の飯野 護 先生が自己紹介され、氏名点呼および開会の

言葉の後、大滝会長より挨拶があり、続いて議長に加藤謙一 先生、副議長に山口貴史 先生を選出し、審議を開始した。
まず報告事項として、小林 靖 代議員より道歯代議員会報告、大熊一豊 国保組合支部長より国保組合報告が行われた。その他、歯科保健センターの休日歯科診療時間変更、レセコン導入の件で担当理事からの報告があった。
議決事項では平成30年度補正予算案に関して承認された後、任期満了に伴う十歯会長選出について大滝会長が再任の所信表明を述べられ、全会一致で信任された。大滝会長からは、今後予想される会費収入減を補うため、さらなる経費削減と会費の値上げを検討する必要があること、十歯会が情報提供・発信をして各方面へのプラットフォーム的な役割を担っていきたいとの話があり、最後に行木理事より歯ブラシブリゲードに関して今後の予定などの説明が行われ閉会となった。

(南館直人 記)
学校歯科健診でのキャリブレーションおよび就学時歯科健診改定における注意事項の伝達講習会
日時：平成31年2月13日(水)
午後7時30分より
場所：十歯会館 2F 講堂
次年度の学校歯科健診に向けて、学校成人歯科部による標記講習会が開催された。はじめに十歯会員の大和志郎 先生より、学校歯科健診時に不正咬合と診断されたまま長期間放置されていた場合の影響に関して、矯正歯科医の立場から症例を交えて、わかりやすく解説いただいた。
つづいて、学校成人歯科担当理事の行木隼人 先生が学校歯科健診における顎・咬合の診査について説明し、保護者の口腔衛生意識が高まってきている昨今では、カリエスや歯肉炎より歯列・咬合・顎関節・悪習癖に関する情報を学校歯科医として伝える必要があると強調された。
また最後に、学校保健委員会へ積極的に参加して歯科医師の立場で意見を述べていくことも大切だと締めくくられた。
(南館直人 記)

美唄

BIBAI

歯科診療所における院内感染防止対策セミナー開催
日時：平成31年2月23日(土)
午後3時より
場所：美唄ホテルスエヒロ
道歯会が主催する平成30年度歯科医療安全管理体制推進特別事業による標記セミナーが開催された。
最初に森本達也 道歯会理事の司会で始

まり、講師は北海道医療大学歯学部 生体機能・病態学系 顎顔面口腔外科学分野 教授の永易裕樹 先生、同大学歯学部 口腔構造・機能発育学系 小児歯科学分野 教授の齊藤正人 先生、北海道大学大学院歯学研究科 口腔病態学分野 口腔診断内科学教室 講師の佐藤 淳 先生が行なった。
まず、永易教授が「歯科診療所に必要な感染対策について」と題して、スタンダードプリコーションの概念や、滅菌・消毒・



洗浄、感染性廃棄物について講演された。次いで佐藤講師が「診療器具の滅菌と暴露について」と題して、歯科医療としての感染症やHBV・HCV・HIVのウイルスの感染力の違いや、滅菌方法とオートクレーブのクラス別による滅菌状態について講演された。最後に齊藤教授が「清潔感あふれる歯科医院を目指して」と題して、実際の動画を観ながら歯科診療時の清潔・不潔の問題点について講演された。講演では現在



のトレンドの話もあり、今後の日常の臨床で役立つと思われることが多かった。参加者には美歯会会員のスタッフや近隣の歯科医師会の先生も参加していただき大変有意義なセミナーであった。
終了後には、4 人の先生を囲みながらの懇親会が和やかに行われた。今回、美唄で開催していただき、道歯会に感謝いたします。
(川上譲治 記)



後志 SHIRIBESHI

ポールトレーニング
日時：平成31年2月11日(月・祝)
午前9時から午後2時
場所：いわないリゾートスキー場
参加者：黒田準一、井筒 徹、岡崎有志、
土方敬久、山田一晴、中村 衛、
島田 歩

3月9日(土)に開催される全日本歯科医師スキー大会・北海道歯科医師スキー大会に向け、後歯会スキー部はポールトレーニングを行なった。晴天気温マイナス10℃の中で、岩内スキー少年団と合同



で大回転の練習をした。(山田一晴 記)
ボウリング部 2月月例会
日時：平成31年2月12日(火)
午後8時から午後9時30分
場所：ファミリーボウル岩内
なんと土方先生が三連覇。実力気力充実といった感じ。準優勝は土方(妻)。土方家はしばらく餃子と豚しゃぶの日々が続くこととなった。今回より私の娘も参加。伊藤は二人分の会費を払うこととなった。



		①	②	③	HDCP
優勝	土方	191	213	248	38→27
準優勝	土方(妻)	163	232	204	58→52
1位	伊藤	170	184	182	35→40
2位	山田	177	172	218	58→57
3位	青山	198	179	189	24→26
4位	長澤	182	203	211	33→30
5位	伊藤(娘)	157	170	198	53→62
6位	井筒	196	205	186	50→46
7位	黒田	151	186	185	36→42

8位 島田 180 215 185 77→72
(伊藤 純 記)
HDCPは先月までの平均Aveと今回のAveとで平均Aveを出し、200からの80%で算出した。
平成30年度 第6回 定例理事会
日時：平成31年2月28日(木)
午後7時30分より
場所：余市町 ホテル水明閣
平成31年度事業計画(案)、予算(案)が全会一致で承認された。その後、今後の日程について話し合われ閉会となった。(五十嵐 豊 記)



留萌 RUMOI

平成30年度 学術講演会
日時：平成31年2月23日(土)
午後3時より
場所：るもい健康の駅

ラグビーW杯や東京オリンピック・パラリンピックと世界的ビッグイベントが国内開催されるにあたり、国民のスポーツに対する関心もより一層高まることが期待される。

我々歯科医師もスポーツにおける歯科の役割や重要性を十分理解し、臨床や現場に還元したいところである。
そこで留萌歯科医師会会長であり日本スポーツ協会公認スポーツデンティストとしてご活躍されている川上宣之 先生に「スポーツ歯科へのアプローチ～開業医の立場から」と題し、講演いただいた。

スポーツ歯学の歴史や成り立ちから始まり、スポーツ選手の口腔の健康維持管理、スポーツによる外傷対応ではご自身の長期経過症例を提示され脳震盪のマネジメントについて詳細に説明いただいた。また、

さまざまなスポーツにおける噛み締め効果やそれに付随したマウスガードの製作方法、そして2017冬季アジア札幌大会での歯科サポートに代表される北海道におけるスポーツデンティストの活動報告やドーピング問題等多岐にわたり説明がなされた。
途中、川上先生がコーチされているミニバスケ少年団で取り組まれている「コーディネーショントレーニング」の実演もあるなど盛り沢山の内容で、2時間半があっという間に過ぎ去った。
今回の講演会では他郡市区の先生方も参加されており、注目の高さをうかがわ

せた。
質疑応答の後、伊東副会長による閉会の辞で講演終了となり、懇親会へ移動。
日が変わっても歌い語り合う有意義な一日となった。(岩屋浩洋 記)



岩見沢 IWAMIZAWA

平成30年度 第2回岩見沢方面会
日時：平成31年2月22日(金)
午後7時より
場所：清寿司
改選期のため、年度内2回目の岩見沢方面会が岩見沢市内22名の会員により行われた。
まず、年末年始およびGWの救急当番

について、超大型連休に対応するため、通常より救急当番の日数を増やしたことを報告、健診事業については北海道大学と提携している岩見沢市が歯科分野で新事業を企画しているため協力を依頼した。これは高齢者の口輪筋を鍛える啓発と効果の検証を2年がかりで行なうものである。
続いて野球部の決算報告と予算案の審議を行ない、会長候補者、方面会監事、方面会選挙管理委員について協議した。来る3月22日の臨時総会で代表理事を決定し、5月25日の定時総会にて理事、会長を決定する予定となっている。

(久恒泰宏 記)
平成30年度 栗山方面会・総会
日時：平成31年3月2日(土)
午後6時より
場所：湊一や
栗山町、南幌町、長沼町、由仁町の会員で構成される栗山方面会が“すすきの”で行われた。方面会役員や各種委員の人選に関する協議や決算報告などが行われたあと、午後6時30分から執行部三役がお邪魔し、報告と懇親を行なった。
今年は岩見沢方面会が先に行われたため、その報告とその他の事務連絡、野球

部決算と予算案について、平成31年度学術講演会の予定、糖尿病専門部会から新しく出される啓発プレート、連携手帳の利用促進のお願いなども合わせて報告を行なった。岩見沢市、三笠市、夕張市、美唄市、月形町を含めた南空知医療福祉圏域の高齢化率は、2035年頃に46.6%に達すると予想されており、地域の歯の健康のために会員にかかる負担や責任も大きくなると思われる。これからより一層、双方の情報交換が必要だと話し合った。(久恒泰宏 記)

小樽 OTARU

学校歯科健診説明会
日時：平成31年2月14日(木)
午後7時30分より
場所：樽歯会館



講師は上浦学校歯科担当理事が務め、23名が出席した。
就学前健診と小中学校の定期健診に分けて話が進められ、就学前健診では「う蝕多発傾向者」を所見欄に記載することが説明された。また、口腔内所見や全身の状況、保護者と幼児の関係から虐待が疑われる場合、速やかに児童相談所等に通告する必要があることも説明された。
小中学校の定期健診では、健診の流れと要点、健診票の記入方法、所見欄の記載方法などについて詳細な話がなされた。同時にう蝕や歯列・咬合、顎関節、歯肉などあらためてそれらの診査基準の確認も行われた。特に歯列・咬合では、年齢によって要観察症例、要精検症例が異なってくること、この他にも、口内炎、小帯異常、中心結節、過剰歯、エナメル質形

成不全なども症例を供覧しての詳細な話もなされた。
最後に質疑応答があり、終了した。(野 隆広 記)

第24回臨時総会
日時：平成31年2月22日(金)
午後7時より
場所：樽歯会館
氏名点呼が行われ会員数97名のところ出席35名、委任状出席28名、合計63名の出席を確認し、定款19条により総会の成立が確認された。修礼後、加藤副会長による開会の辞に続き、市村会長の挨拶の後、議長に本間 豊 会員、副議長に角谷 淳 会員が選出された。
報告事項として(1)会務報告(2)会計現況報告(3)郡市区会長会議報告(4)小樽歯科衛生士専門学校現況報告(5)小樽歯科衛生士専門学校運営委員会報告(6)選挙管理委員会報告(7)その他で



寺総会
市村会長より、次期学校長に加藤友一 会員が決定した旨報告がなされた。
議事では議案第1号 一般社団法人小樽市歯科医師会役員選挙に関する件で理事1名欠員に対する補欠選挙の上げが高村専務理事よりなされた。立候補者が中川

靖子 会員1名のため、全員一致で選出された。
議案第2号 一般社団法人小樽市歯科医師会会長予備選挙に関する件で選挙管理委員会より、次期会長予定者に加藤友一 会員が立候補している旨、報告があり、無投票にて当選が確定した。当選の挨拶の後、野 会員から提出された事前質問に対して、回答がなされた。
その他では上浦学校歯科担当理事より、2月14日(木)に開催された学校歯科健診説明会の動画をYou Tubeにアップした旨、案内がなされた。加藤副会長より、病診連携カンファレンスと地域包括ビジョン協議会主催の講演会について案内がなされた。高村専務理事より、ゴールデンウィーク中の休日当番募集の件と、4月から歯科医師国保の保険料について案内がなされた。實川 会員より、要保護・準要保護の歯科治療費の件と、歯科医師会にきているクレームの公開の件に付いて質問がなされた。
その後、加藤副会長より閉会の辞があり、すべての日程が終了した。(山口大樹 記)
《小樽》競走部納会
日時：平成31年2月8日(金)
午後7時より
場所：無国籍料理Food & Bar MONIKA
底冷えのする、夜の小樽で10名の競走部員が集まり、競走部納会が開かれた。日頃のトレーニング法や北海道マラソンのタイムの報告、昔の思い出話に花が咲き、それぞれの来年度の目標を話し、和やかで楽しい会となった。(山口大樹 記)



専門学校卒業式
日時：平成31年3月9日(土)
午後1時より
場所：グランドパーク小樽
50期生の卒業式が開催された。22名の歯科衛生士としての門出の日を、学校関係者・来賓・在校生・保護者ら約100名が出席して祝った。加藤学校長より、歯科衛生士の果たす役割の多様化と重要性について、また、さまざまな分野での口腔ケアの重要性が認識されていると告示がなされた。
在校生を代表して渡邊 舞さん(2年)が送辞を述べ、卒業生を代表し三原めぐみさんが答辞を述べた。最後に専任教諭から3年間の学生生活の思い出をまとめたPVのプレゼントがあり、笑いと感動の涙のうちに式を終了した。(山口大樹 記)

